

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 15農林水産課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	8765	事務事業コード	1561
事務事業名	生物多様性戦略推進事業			開始年度	平成20	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市生物多様性戦略推進会議		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (2)生物多様性を基本とした販売戦略						H25: 重点●政策○	●
H26施政方針	1. 人口減少対策 (3)農林水産業の振興						H26: 重点●政策○	○
H27施政方針	1. 人口減少対策 (4)産業の振興 ① 農林水産業の振興と担い手対策						H27: 重点●政策○	○
事業概要	<p>生物多様性推進組織の育成、東アジア農業遺産学会(H27.6月開催)の準備、佐渡棚田協議会の組織強化、第22回全国棚田(千枚田)サミット(H28年度開催)準備、生物多様性保全促進支援により、農林水産業の振興を生物多様性保全を基礎に環境と経済の活性化を目指す。</p> <p>実施する事業の概要は次のとおり。 生物多様性保全への視点を持ち、普及啓蒙ができる民間団体の育成。 GIAHSの普及・啓発。 佐渡棚田協議会の運営、棚田サポーター制度、棚田米の販売。 全国棚田(千枚田)サミット佐渡実行委員会設立。東アジア農業遺産学会実行委員会設立。 また、GIAHS、生物多様性保全に関連する視察受け入れ等、交流人口の拡大推進に努める。</p>							
対象	豊かな環境、農林水産業、観光業							
意図 (対象をどのようになりたいか)	トキを育む佐渡の生物多様性の豊かさの市民理解の浸透 生物多様性を保全・利用することによる環境と経済の好循環 都市との交流活動などによる棚田保全							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
持続的な経営の展開	主要農産物の販売額	6,294百万円/年	6,400百万円/年
販売ブランド力の構築	朱鷺認証米取組農家数	684戸(累計)	800戸(累計)

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	生物多様性という言葉の認知度	%	未確定	85	未確定	90	90	95
算式	認知度							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性	重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性	
1	生物多様性戦略推進事業			20,516	15,432		15,965	予算	○
	指標	広報回数	回	15	15	14	15	維持	
2	GIAHS推進(東アジア農業遺産学会・棚田景観含む)			3,808	2,047		10,950	予算	○
	指標	イベント回数	回	3	3	8	3	維持	
3	朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会			5,000	4,983		4,500	予算	
	指標	取り組み農家数	軒	622	650	539	670	減額 縮小	
4	地域おこし協力隊			24,165	0		0	予算	
	指標	隊員数	人	11	-	-	-	不要 終了	
5	生物多様性戦略推進事業(東アジア農業遺産学会)			0	600		5,800	予算	
	指標	来場者数	人	-	-	-	300	不要 終了	
6	棚田景観維持			0	4,068		5,600	予算	
	指標	景観維持事業数	箇所	-	4	3	5	不要 終了	
7	佐渡棚田協議会			1,200	700		1,500	予算	
	指標	会員数	人	33	60	48	100	維持 拡充	
8	全国棚田(千枚田)サミット佐渡市実行委員会							予算	◎
	指標	来場者数	人					増額 拡充	
事業費の合計(千円)				54,689	27,830		44,315		
財源内訳	国庫支出金			0	0		19,545		
	県支出金			0	0		4,250		
	地方債			0	0		0		
	その他			0	0		4,252		
	一般財源			54,689	27,830		16,268		

Check ◆事務事業を構成する細事業の評価◆ A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	生物多様性戦略推進事業	A	B	A	佐渡の生物多様性の豊かさの市民への理解浸透。生物多様性佐渡戦略の推進を図るため、生物多様性PR月間の実施。
2	GIAHS推進(東アジア農業遺産学会・棚田景観含む)	A	B	A	3資産との連携、世界農業遺産を生かした交流人口の増加、商品の高付加価値の取組。28年度、東アジア農業遺産学会開催国「韓国」
3	朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会	B	B	A	朱鷺と暮らす郷づくり認証制度の要件見直しが必要。制度に取り組み農家数が足踏み状態であり、認証制度の効果等のPRが必要。
4	地域おこし協力隊				平成26年度以降は、地域振興課へ業務が完全移管。
5	生物多様性戦略推進事業(東アジア農業遺産学会)	B	B	A	GIAHS認定地域での持ち回り開催のため、平成27年度の佐渡市開催以降については、事業の統合を行う予定
6	棚田景観維持	B	B	A	GIAHS推進事業に統合
7	佐渡棚田協議会	B	A	A	会員数の増加及び棚田サポーター制度のPR、組織強化が平成28年度開催の全国棚田(千枚田)サミットに向ける意味でも必要。
8	全国棚田(千枚田)サミット佐渡市実行委員会	B	B	A	平成28年度、第22回全国棚田(千枚田)連絡協議会62団体及び関係団体の参加者が集い、佐渡市においてサミット開催が開催される。参加者700名を予定。H26・5に実行委員会設置し事業計画等検討。

Action ◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	増額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方針など)	世界農業遺産に認定された佐渡の生物多様性保全・利用の促進を図るため市民の理解の浸透を進める。平成27年開催の東アジア農業遺産学会及び、平成28年開催の全国棚田(千枚田)サミットに向けた組織強化を進めると共に、世界遺産、ジオパークとの連携を進める。			